

奈古谷環境保全の会

市町村名 伊豆の国市

地域	伊豆の国市		代表者名	木下秀夫	活動期間	平成20～24年度	
協定面積 (ha)	水田	38.32	対象面積 (ha)	水田	37.50	対象資源	数量
	畑	10.00		畑	10.00	農用地	4.75ha
	草地			草地		開水路	14.7km
	計	48.32		計	47.50	パイプライン	
主要作物	いちご、水稻		参加団体	農業者 奈古谷区 奈古谷区部農会 葦山土地改良区 縄作り研究会 野菜研究会		ため池	
構成員	農業者	非農業者	計			農道	8.3km
人数	66	610	676	会		事業費(年)	1,930,000

主な活動内容	(基礎部分)	(農地・水向上)	(農村環境向上)
	<ul style="list-style-type: none"> 遊休農用地等の発生状況の把握 施設の点検 共同作業計画の策定 草刈り 他 	<ul style="list-style-type: none"> 施設の機能診断 診断結果の記録管理 年度活動計画の策定 異常気象後の見回り、応急措置 きめ細やかな雑草対策 ゲート類の保守管理の徹底 通水試験 他 	<ul style="list-style-type: none"> 計画策定・地域住民との交流活動 景観形成のための施設への植栽 農用地を活用した景観に配慮した作付け 農用地を活用した景観形成活動

地域の概要
 県営ほ場整備他の事業により用排水の分離と農道の完全舗装が完了し、農業が盛んに行われているが、市内の他集落と同じく高齢化や農家の後継者不足により農業用施設の適正な安全管理に支障が出始めている。しかし、地区をあげての河川の草刈や排水機場の運転を地区住民が積極的に行っている。



コンクリート舗装(コンクリート打設)

目指すべき方向
 農業施設の維持管理や保全については、農業者の積極的な参加により解消し、環境保全の活動については、地区住民が広く参加し、活動の多様化を進めていく。

活動の感想
 河川管理道路のコンクリート舗装を行うことで、草刈の省力化や農業用車両の通行の安全が確保されるため、農業者の活動への積極的な参加が見られるようになった。また、地区住民が参加して環境保全活動を行うことで、環境形成への意識の高揚が見られるようになった。



水路の土砂撤去作業

課題
 現在行っているワイルドフラワーや花壇の植栽などの景観形成作業に加え、コンクリート舗装した路肩に彼岸花の球根を植栽し、景観形成の活動を広めたい。



景観(ワイルドフラワー)

抱負・コメント
 行政に頼らず、自分たちで出来ることは自分たちで行う意識が芽生え始めている。